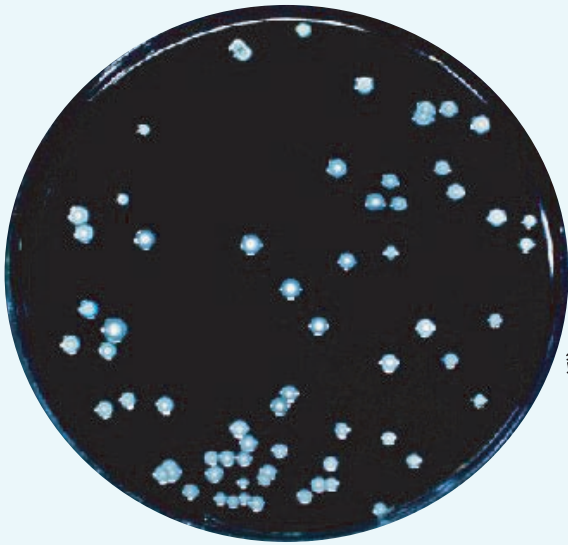


レジオネラGVPC α 寒天培地

ISO「11731:2017」や「レジオネラ症防止指針 第4版」に掲載と同組成の培地です。

検査材料に混在する夾雑菌の発育抑制が強いため
汚染材料からのレジオネラ検出に適した選択・分離用培地

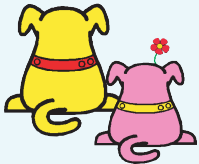
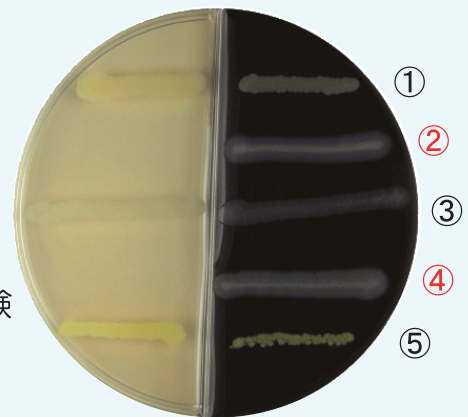
<選択・分離用>



推定集落を
釣菌して推定試験

<推定試験用>

(P2) BAB/レジオネラBCYE α 寒天培地



GVPC α 培地に発育した
レジオネラ環境分離株
(37°C 5日間培養)

BAB培地には発育せずに、
レジオネラBCYE α 培地にのみ
発育した②と④だけが推定
*Legionella*と判定します

レジオネラ検査用関連商品



(P9)レジオネラBCYE α 寒天培地
(非選択分離用)

株式会社 日研生物

(P9) レジオネラ G V P C α 寒天培地

特徴：

- ・本培地は、BCYE α 寒天培地にグリシン、バンコマイシン、ポリミキシンB、およびシクロヘキシミドを添加することにより試料に混在する他の微生物の発育を強く抑制して *Legionella* を効率よく分離することができます
- ・本培地上の *Legionella* は、灰白色の湿潤かつ辺縁がやや不整な集落として観察されます

注意：

- ・他の微生物の混在が予想される材料は、酸処理を実施したうえで本培地に塗抹して下さい
- ・培地は35~37°Cで72時間以上培養して下さい
- ・非選択培地（BCYE α 寒天培地）を併用して使用されることをお勧めします

組成(1000mlあたり)	ISO基準組成
酵母エキス	10.0g
活性炭	2.0g
ACES緩衝剤	10.0g
α -ケトグルタル酸-1カリウム	1.0g
L-システイン塩酸塩	0.4g
ピロリン酸第二鉄	0.25g
グリシン	3.0g
バンコマイシン	1.0mg
ポリミキシンB	80000U
シクロヘキシミド	80mg
寒天	15.0g
pH6.9 \pm 0.1	

検査手順の一例：

- <濃縮集菌> 検水（環境水・浴槽水など）500mlを滅菌済みメンブランフィルター（直径47mm、孔径0.2 μ m）で吸引ろ過してレジオネラ菌を集菌する
- ↓
- <洗い出し> ろ過したフィルターを滅菌蒸留水5ml入りの100mlの三角フラスコに入れ、ボルテックスミキサーで1分間激しく振とうする（この時点で検水は100倍に濃縮されている）
- ↓
- <前処理> レジオネラ検出用前処理液を等量添加し、前項と同様に1分間激しく振とう後、時どき攪拌しながら室温で最長20分間作用させて夾雑菌を死滅させる。（この時点で50倍濃縮となる）
- ↓
- <培養> 「(P9)レジオネラGVPC α 寒天培地」および「(P9)レジオネラBCYE α 寒天培地」に前処理済みの試料液を各0.1ml塗布し、35~37°Cで7日間培養する
- ↓
- <一次判定> 培養3日目以降に発育した集落（灰白色湿潤）を *Legionella* と疑い、「(P2)BAB/レジオネラBCYE α 寒天培地」に接種し培養する
- ↓
- <同定> BAB寒天培地部（L-システインを含まない）には発育せず、レジオネラBCYE α 寒天培地部にのみ発育した集落をヒメネス染色や馬尿酸試験等により同定する

レジオネラ菌選択・分離用培地と関連商品

商品コード	商品名	包装	価格	有効期限	保存方法	用途
P99405-010	(P9)レジオネラGVPC α 寒天培地 (ISO組成)	10枚	3,200円 (@320) 税込3,520円	3ヶ月	冷蔵(4~9°C)	レジオネラ菌選択・分離用
P99401-010	(P9)レジオネラBCYE α 寒天培地 (ISO組成)	10枚	2,400円 (@240) 税込2,640円	3ヶ月	冷蔵(4~9°C)	レジオネラ菌非選択分離用
P26215-010	(P2)BAB/レジオネラBCYE α 寒天培地	10枚	3,800円 (@380) 税込4,180円	3ヶ月	冷蔵(4~9°C)	レジオネラ菌推定試験用



株式会社 日研生物

<https://www.nikken-bio.co.jp>

〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺堤外縁23番地

TEL (075)631-6187 FAX (075)632-0367

2024.04